

新潟焼山の火山活動解説資料(平成25年3月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成23年3月31日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

- 噴気など表面現象の状況(図2 -)

今期間、機器障害のため、山頂部東側斜面の噴気の状況は観測できませんでした。

- 地震や微動の発生状況(図2 - 、図3 -)

新潟焼山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

- 地殻変動の状況(図2 -)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

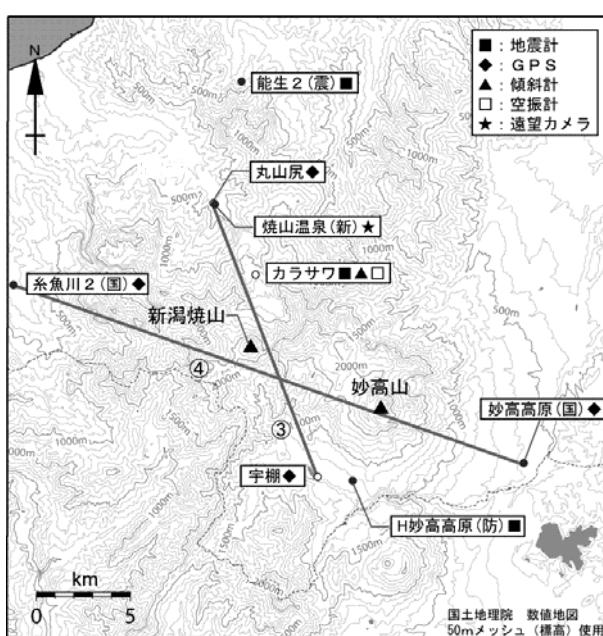


図1 新潟焼山 観測点配置図
GPS基線 は図2 の に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成25年4月分)は平成25年5月10日に発表する予定です。

この記号の資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平23情使、第467号)。

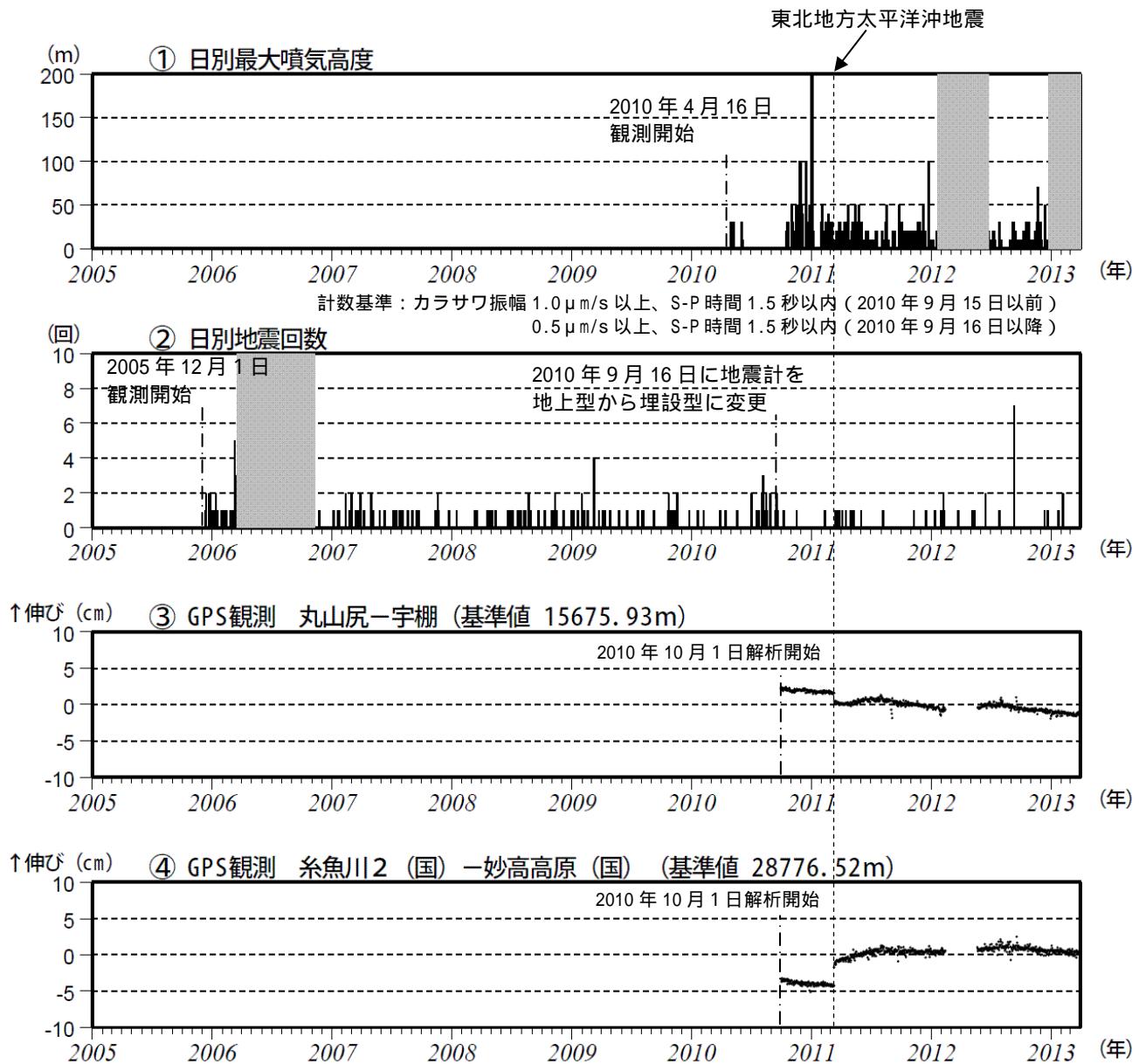


図2 新潟焼山 火山活動経過図(2005年12月1日～2013年3月31日)

- : 定時観測(09時・15時)による日別最大噴気高度
 - ・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : 日別地震回数
 - ・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : GPS連続観測結果 (国): 国土地理院
 - ・の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
 - ・は、図1のGPS基線に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

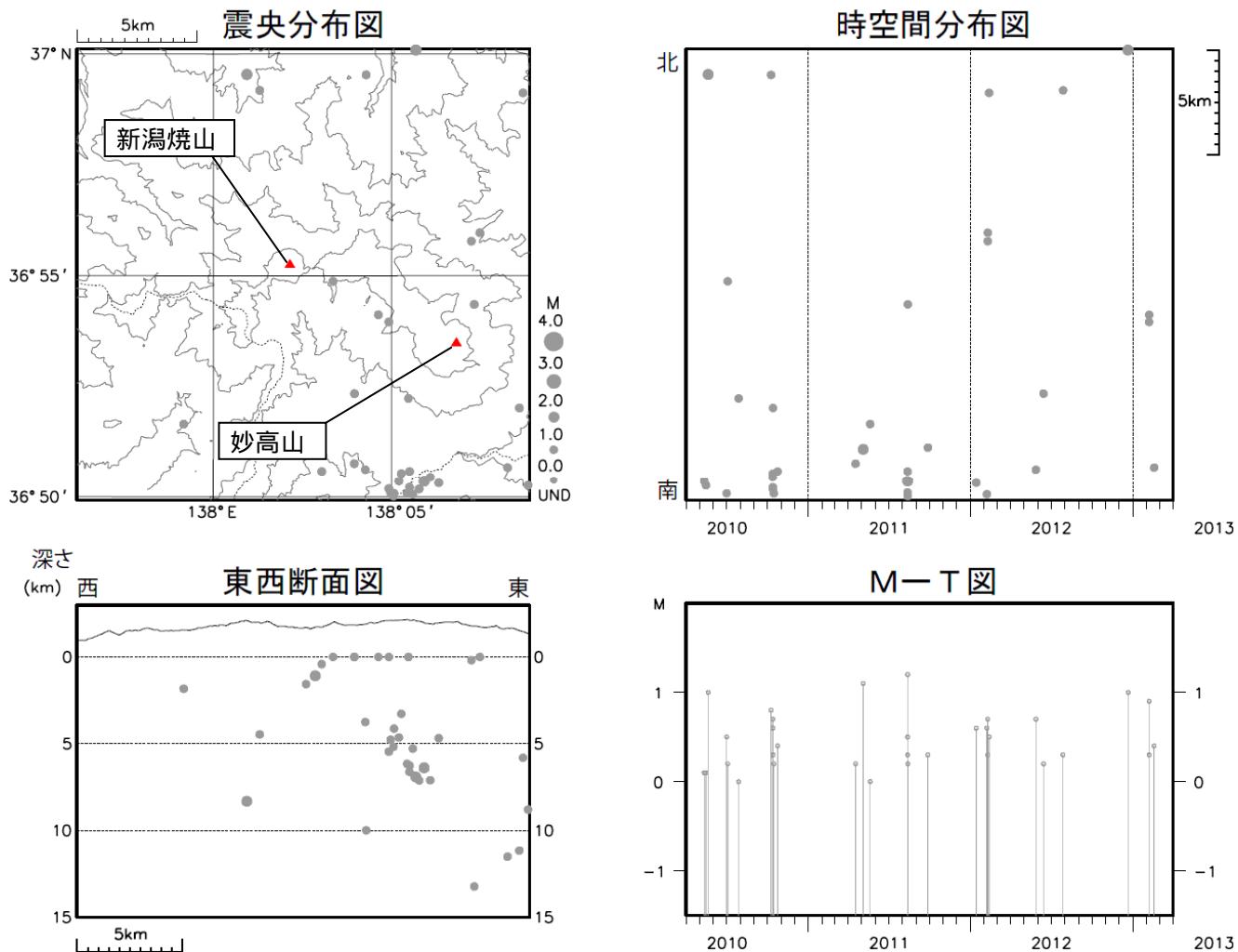


図3 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2010年4月1日～2013年3月31日)

: 2010年4月1日～2013年2月28日 : 2013年3月1日～3月31日

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

今期間、震源が決定された地震はありません。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。